

099

contents

所蔵品紹介
雪舟への旅展予告
休館中の美術館活動紹介
年間スケジュール

天花
TENGE
天花



牛腸茂雄(1946-1983) 「SELF AND OTHERS」 1977年 山口県立美術館蔵

所蔵品紹介

表紙作品解説

牛腸茂雄 (1946-1983) 「SELF AND OTHERS」 1977年
全60点のうちの1点
ゼラチン・シルバー・プリント 14.3×21.4 (24.0×30.4)cm 山口県立美術館蔵

窓際におかれた小さなベッドも、そこからはみ出すかのように並べられた枕も、その傍らの小さなテレビも、写しだされているものすべてがこの若い2人の幸せを浮かび上がらせる脇役役に見えてこないわけではない。身籠った女と男が真ん中にいるのである。しかし、ひとたび、まんじりともせずはこちらを見つめる2人の視線が気になり始めると、この光景から連想するほどの感に耽ることができなくなってしまう。

写真家の狙いは、自然な笑みがこぼれでる一瞬をとらえて、ありきたりではあるけれどもかけがえのない幸せを浮かび上がらせることにあったというわけではなさそうだ。日常のあたりまえの生活をなんの変哲もない構図できりとりしているとはいえ、ありふれた情感を喚起することだけは周到に避けられているのである。むしろ、一瞬ということであれば、背後のカーテンが外からの風を受けとめた瞬間をこそ見逃さない。カーテンがふんわりとふくらんで陰影を失いこぼれんばかりの光そのものへと転化する瞬間。ふたりの空間を祝福するかのようなこの光こそが、脇役たちを際立たせ、文字通りに輝かせている。

後年の言葉ではあるけれども、「『もう一つの現実としての写真』を、<日常性>というとりとめもなくあいまいな世界の深みへと引きずり込みたい」という牛腸の欲望に耳を傾けるならば、彼にとってはむしろこのものいわぬ脇役たちこそが重要だったといえそうだ。ひとつひとつのものに刻み込まれ、しみこんだ時間。まったく見ず知らずの2人が出会い、暮らし、身ごもり、衝突しながらも将来をみつめ、日常をいとんでいこうとすること。このどこにでも転がっている奇蹟に較べると、いくらかけがえがないとはいえ素朴な幸せなど、日常の一面にしかすぎない。

世界と自分との関わり、その曖昧さ、その深みをまるごと浮かび上がらせること。牛腸は、そのためにこそ日常を凝視するのである。

(当館学芸員 河野通孝)

なぜこの
するので
み！)。



の絵で
な。

だ
今!

このポ

休館中の美術館活動紹介

■作品貸出

通常の貸出業務とは違いますが、最近岩国市にて開催された「ふしぎな世界」展(11/23~12/5、シンフォニア岩国)に所蔵品約30点を展示し、ご好評をいただきました。ところで貸出のときには必ず、すみからすみまで入念に作品を見て状態チェックを行います。最後には目がしょぼしょぼになりますが、大事な作品の変化を見逃しては一大事。貸出の度に、担当者は目を血走らせながらがんばるのです。



シンフォニア岩国への貸出

(剣持あずさ)

これからの主な所蔵品貸出予定

小林和作「春の海」などの油彩画7点

→「小林和作展」(和歌山・田辺市立美術館)2006/2/11~3/26

■ボランティア

秋らしくなった10月8日・9日・10日の3日間、萩博物館(山口県萩市)で全国の博物館ボランティアの集まり「ボランティアメッセ2005 in萩」が開催されました。今年も各地の博物館施設で活動するボランティア31団体が参加。山口県立美術館のボランティアも、写真やこれまでに作った資料などを使って、この3年半の活動を紹介しました。足をとめて展示を見てくださるお客さんがいらっしゃると、つい自分たちがどんな活動をしているか、お話しとなります。ボランティアの方たちが実際の活動を実演する博物館もあり、ボランティアの皆さんの熱意とバラエティに富んだ活動に刺激される3日間でした。



山口県立美術館ボランティアの活動紹介

(前田淳子)

■学校連携・教員向け講座

他館を紹介する今年の教員向け講座。9月に北の県立萩美術館で考古展、12月に東の周南市美術博物館で現代アート展を見学しました。11月に行ったアメリカ・アレナスさんのワークショップも満員御礼、大盛況!教員も学芸員も楽しんで考えているその熱気、子どもたちにも伝えたいですね。

アメリカ・アレナスさん



(杉野愛) はい、はい!6時間があっという間でした。

■空調設備工事

美術館が今年の5月に閉館してはや半年が過ぎました。現在、美術館の正面玄関横には工事の覆いができていて、物々しい雰囲気は漂っています。

来年4月のリニューアルオープンを目指して、工事は急ピッチに進んでいます。この工事の目的は、作品展示の際の最も重要な条件である温度・湿度の調節機能を高めるなど、美術館の基本性能のバージョンアップをはかること。新しく生まれ変わる美術館にどうぞご期待下さい。

(斎藤郁夫)

国民文化祭・やまぐち・特別企画展

雪舟没後500年記念特別展覧会

雪舟への旅

2006年11月1日(水)ー30日(木) (予定)

新年あけましておめでとうございます。いよいよきました、この年が。**雪舟(1420-1506?)没後500年**です。彼がその画家としての人生のほとんどを過ごした**山口**で、この秋、大展覧会を開催いたします。

絵ばかり描いて修行をサボり、柱に縛られてもなお**涙でネズミ**を描いた少年時代。大都会・京都の名門寺院でなかなか認められなかった青年時代。国内で大戦争が勃発した年、山口の**大内氏**に画家として初めて**先進国・中国**へ渡らせてもらった中年時代。**中国帰りのスゴ腕**をふるった壮年時代。その筆は、現代の男性平均寿命をはるかに超える**86歳**まで走りつづけました。

親友が彼の死を嘆く詩を詠んでから500年。この秋は、雪舟が居た街山口で、その生涯と絵の世界へ**トリップ**しませんか。

実はこの後、雪舟がなぜこの絵を描いたか自白するのであった(秋のお楽しみ!)



この旅はまだまだつづく…

これはまた見事な枝ぶりですなあ。
白梅もまたかわいらしゅう咲いちよるし。

瑠璃光寺と天花の谷にわく雲を思い出します。

絶壁。なーんかどこかの雪舟の絵で
みたことあるような、ないような。

だれか乗ってますかあ？
今日は風が強いですねえ。

山水小巻

墨がかすれちゃうくらい
ささっと描いている。

「あのな、わし、昔な…」



重要文化財 倣高克恭山水図巻(部分) 文明6年(1474) 23.6×402.5cm 山口県立美術館蔵

巻物は右から左にみていくんよ。

国宝 四季山水図巻(部分) 文明18年(1486) 39.8×1580.2cm 毛利博物館蔵



このポツポツは、いったいなんかね？

山水長巻

師匠と弟子。お父さんとボク。ホレたあの子とこの私。
だれでもいいから連れだって、旅に出ようじゃありませんか。

2005-2006

特別展

schedule

山口県立美術館 平成17年度年間スケジュール

常設展

山口県立美術館エコーズ「天竺」第9号 平成18年1月4日発行

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

4/12～5/22

興福寺国宝展

鎌倉時代美術のあはれとけ

5/23～2006/3

休館

(空調設備改修工事のため)

9/22～10/12

第9回やまぐち県民文化祭

第59回山口県美術展覧会

会場:下関市立美術館

追悼 松田正平 萩の茶陶 植木茂

4/10

4/12

興福寺国宝展特別展示

「萩の茶陶」

「秘仏公開

—山陽小野田市 岩崎寺・正法寺の仏像—

5/22

5/23～2006/3

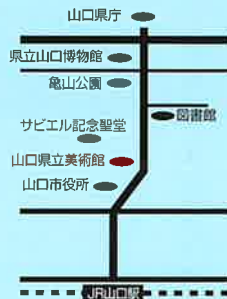
休館

(空調設備改修工事のため)

Information

■当館は空調設備改修工事のため、
2006年3月末日まで休館中です。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art
〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>



発行 山口県立美術館 印刷 森重印刷株式会社